

2019年1月11日

葉酸+B6・B12 の改良(使用原料の一部変更)のお知らせ

このたび、葉酸+B6・B12の一部原料を変更し、改良しましたのでご案内します。1月11日以降の納品分(2020.12/+PPA)から変更になります。

①原料変更内容(2カプセルあたり)

成分	原料	
	OLD	NEW
カルシウム (80mg)	ドロマイト (400mg)	サンゴカルシウム (266.66mg)
マグネシウム (40mg)		酸化マグネシウム (64.29mg)
ビタミン B12 (100 μ g)	シアノコバラミン 0.1% (100mg)	シアノコバラミン 96% (0.106mg)

◎カルシウムの原料をドロマイトから吸収率に優れるサンゴカルシウムへ

従来はカルシウムとマグネシウムの原料には、それぞれ、2:1の割合で含まれていることからドロマイトを使用していました。ところが、岩石であることからか、吸収率は高くありませんでした(56%)。そこで、より吸収率の高い(70%)サンゴカルシウムに変更することにしました。沖縄の海底の風化造礁サンゴ粒(コーラルサンド)をパウダーにしたもので、カルシウムだけでなく、サンゴが成長する間に体に取り込んだマグネシウムや亜鉛、銅、などの海洋ミネラルを天然バランスのまま含まれています。

◎マグネシウムの原料をドロマイトから酸化マグネシウムへ

サンゴカルシウムに含まれるマグネシウムは2%と少ないことから、マグネシウムの原料は酸化マグネシウムに変更しました。酸化マグネシウムはサンゴカルシウムと一緒に摂ることで吸収率が高まることが知られており、ドロマイトを原料としていた場合に比べて吸収率が高まりました(54%→73%)。

◎ビタミン B12 (シアノコバラミン) を含有率の高い原料へ

ビタミン B12 の原料をより純度の高い原料(0.1%→96%)に変更しました。ビタミン B12 は合成原料を使用しています。天然由来原料では含有率が低くても配合成分以外の成分が協働し、体内利用率を高めるといったメリットがありますが、合成原料ではそのようなことはありません。そのため、含有率が低い原料を使用すると、不要なものを摂取することになることから、純度の高い(96%)原料に変更しました。

②カプセルの色が変わりました

従来、カプセルの色がビタミン B12 の原料特有の薄いピンク色をしていました。このたび、ビタミン B12 を純度高い原料に変更した結果、1 カプセルあたりのビタミン B12 原料の配合が 25mg から 0.0503mg と、大幅に少なくなりました。そのため、カプセルの色は、下の写真のように最も配合量の多いサンゴカルシウムの色である薄いクリーム色になりました。



・従来のカプセル

・新カプセル

③添加物量が増えました

OLD		NEW	
添加物総量	内容物あたりの割合	添加物総量	内容物あたりの割合
29.58mg	10.2%	61.86mg	25.8%

※上記は1カプセルあたり

添加物の総量と内容物あたりの割合が増えました。これはカルシウムとマグネシウムの原料をドロマイトからサンゴカルシウムと酸化カルシウムに、また、ビタミン B12 の原料を純度の高い原料に、それぞれ変更したことによるものです。当社では、身体への親和性が高く、吸収率の優れた原料や不要なものを摂らない原料に変更したことのメリットは添加物の量が増えたことによるデメリットを上回ると考えています。